

2026 年 1 月 28 日
ジャパンネクスト証券株式会社

日本最大※の PTS を運営するジャパンネクスト証券

2025 年夜間取引の売買代金

四半期別第 1 位と各日のトップ 3 銘柄 を発表

通年トップは第 2 四半期 (5 月 22 日) の 502 億円、暗号資産関連銘柄が活況

第 4 四半期は半導体関連株が存在感

私設取引システム (Proprietary Trading System、以下 PTS) の運営を主軸に金融サービスを展開するジャパンネクスト証券株式会社 (本社: 東京都港区、代表取締役 CEO: 山田 正勝) は、「2025 年夜間取引の売買代金 四半期別第 1 位と各日のトップ 3 銘柄」を発表いたします。

ジャパンネクスト証券の PTS は株式などの有価証券を取引できる場を投資家の皆様に提供し、平日 17 時から翌日 6 時までの時間帯に夜間取引市場を開設しております。

2025 年の 1 年間の振り返りとして、夜間取引市場で四半期 (第 1 四半期: 1 月～3 月、第 2 四半期: 4 月～6 月、第 3 四半期: 7 月～9 月、第 4 四半期: 10 月～12 月) ごとに売買代金が最も多かった日と、その日に出来高が多かった銘柄トップ 3 をランキング形式で紹介します。

また、今回発表した内容を基に、公益社団法人日本証券アナリスト協会認定アナリストで、SBI 証券 投資情報部長の鈴木英之氏に、それぞれの日の市場の動きや夜間取引市場を活用するメリットを解説していただきました。

※2026 年 1 月時点 / 私設取引システム (PTS) の売買代金において / 当社調べ

■第1四半期(1月～3月) 第1位 1月27日(月)夜間の売買代金:151億円

〈内訳〉

順位	コード	銘柄名	売買代金	割合	市場・商品区分
1	1570	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信	¥2,551,532,581	16.8%	ETF
2	1357	NEXT FUNDS 日経平均ダブルインバース・インデックス連動型上場投信	¥1,103,302,629	7.3%	ETF
3	1360	日経平均ベア2倍上場投信	¥837,779,599	5.5%	ETF

【1位】

2025-01-27, 1570, NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信, N-market



【2位】

2025-01-27, 1357, NEXT FUNDS 日経平均ダブルインバース・インデックス連動型上場投信, N-market



【3位】

2025-01-27, 1360, 日経平均ベア2倍上場投信, N-market



＜考察＞

2025 年 1 月 27 日の夜間取引の動きを一言でまとめれば「米国市場におけるディープシーク・ショックをリアルタイムで織り込んだ」こととなります。

米国東部時間の 1 月 26 日早朝～1 月 27 日早朝（日本時間 1 月 26 日夕方～1 月 27 日夕方）にかけて、Deep Seek の「低コストで高性能の中国製 AI モデル」に関する期待・警戒が SNS やメディアで拡散され始めました。この動きが、市場参加者に織り込まれ、日本時間で 1 月 27 日夕～夜に夜間取引で織り込まれ始めました。

1 月 27 日 17:00～18:00（日本時間）に、米国市場は「Deep Seek ショック」でテック株が急落し始めました。これにより、東京の夜間取引に直結する日経先物にも売り圧が入り、日経レバ(1570)が下落。この時点で日経ダブルインバース(1357)や日経平均ベア 2 倍(1360)は、“ショック相場対策”として買いが集中し、価格が上昇し始めます。18:00（日本時間）以降、米国のプレマーケットでは VIX の急騰などを受けて更なるリスク警戒が生じ、日経先物や ETF において売りが加速。日経レバ(1570)は値を崩し、日経ダブルインバース(1357)は底値から逆に買われて直近安値圏から値を伸ばす展開に。

この時間帯の夜間取引市場が存在することにより、日本市場はリアルタイムでショックを織り込むことが可能となっています。

深夜帯にも先物・ETF を通じてグローバルな市場変動をリアルタイムに取り込める夜間取引は、日本市場における「危機対応の即応性」を高めています。米国のように 24 時間取引ではない日本でも、夜間取引を活用することで情報のタイムラグを最小化し、リスクヘッジや急騰急落への対応が可能です。

■第2四半期(4月～6月)第1位 5月22日(木)夜間の売買代金:502億円

〈内訳〉

順位	コード	銘柄名	売買代金	割合	市場・商品区分
1	3350	メタプラネット	¥37,608,253,780	74.8%	スタンダード
2	3825	リミックスポイント	¥4,950,827,720	9.8%	スタンダード
3	1570	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信	¥544,763,621	1.1%	ETF

【1位】

2025-05-22, 3350, メタプラネット, N-market



【2位】



【3位】

2025-05-22, 1570, NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信, N-market



<考察>

2025 年 5 月 22 日の夜間取引の動きを総じて言えば、ビットコインに代表される暗号資産価格が最高値を更新する中で、関連株が乱高下した取引と言えます。

前提条件としてはまず、メタプラネット(3350)とリミックスポイント(3825)は株式市場で暗号資産関連株とみられていることです。そしてもうひとつは、暗号資産であるビットコインが 5 月 22 日に 11 万ドルを超えて 4 カ月ぶりに最高値を更新したということです。

こうした中、代表的な暗号資産関連銘柄であるメタプラネットは 5 月 22 日まで 3 日連続ストップ高となりました。買いが多く 5 月 22 日は買い気配が切りあがったため、買い注文を残す形になりました。この日の夜間取引ではチャートにもあるように、メタプラネットは 22 日の終値から大きく乖離した価格帯での取引となりました。ここで注意すべき点は 4 点です

- ①夜間取引を活用し、日中相場から大きく乖離した価格帯で売却できた投資家の存在
- ②逆に夜間取引で、日中相場から大きく乖離した価格帯で買い付けた投資家の存在
- ③PTS での夜間取引は日中取引に比べ商いが薄く、価格が飛びやすいという事実
- ④5 月 22 日の夜間取引の乱高下が、5 月 23 日の同社株急落の大きな要因になった可能性

夜間取引は日中取引にない投資機会を提供するものの、ボラティリティの大きさには十分注意すべきという示唆を与えた日でした。

■第3四半期(7月～9月)第1位 8月22日(金)夜間の売買代金:210億円

〈内訳〉

順位	コード	銘柄名	売買代金	割合	市場・商品区分
1	3350	メタプラネット	¥1,294,323,510	6.2%	スタンダード
2	1570	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信	¥1,286,903,545	6.1%	ETF
3	2315	CAICA DIGITAL	¥1,101,991,480	5.2%	スタンダード

【1位】



【2位】

2025-08-22, 1570, NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信, N-market



【3位】

2025-08-22, 2315, CAICA DIGITAL, N-market



＜考察＞

2025 年 8 月 22 日も 5 月同様、暗号資産関連が主役でした。ただ、この時期、ビットコイン価格が強かった訳ではありません。暗号資産関連としての存在感はメタプラネット(3350)が圧倒的ですが、この日はやはり暗号資産関連である CAICA(2315)と売買代金に大差はありませんでした。夜間取引ではこの日、CAICA が先行して動き、メタプラネットはその動きに続いた形です。

CAICA は従来の本業であったシステム開発で培ったノウハウを生かしブロックチェーン、暗号資産、Web3 に展開してきた会社です。この時期は同社に対する評価が高まり、8 月 22 日にストップ高、8 月 25 日にも買い気配のままストップ高になりました。8 月 22 日の夜間取引で CAICA は 130～160 円で取引されていましたが、8 月 25 日の日中取引から参加した投資家は 160 円でしか買えなかった計算です。つまり、PTS の夜間取引が投資チャンスを広げたと言えます。この日のメタプラネットの夜間取引は当初 830～840 円近辺で推移していましたが、23 時頃から 880 円に向けて急動意を示しています。ちなみに、メタプラネットの 8 月 25 日終値は 904 円であり、夜間から参加した投資家は利益を確保することができました。

夜間取引が日中取引ではできなかった投資機会を与えた典型的な例となりました。

■第4四半期(10月～12月)第1位 11月14日(金)夜間の売買代金:316億円

〈内訳〉

順位	コード	銘柄名	売買代金	割合	市場・商品区分
1	285A	キオクシアホールディングス	¥8,653,884,590	27.3%	プライム
2	1570	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信	¥2,614,386,700	8.3%	ETF
3	9984	ソフトバンクグループ	¥1,138,502,500	3.6%	プライム

【1位】



【2位】

2025-11-14, 1570, N E X T F U N D S 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信, N-market



【3位】

2025-11-14, 9984, ソフトバンクグループ, N-market



<考察>

2025 年 11 月 14 日に売買代金が集中したのはキオクシア(285A)です。同社は東芝からスピニアウトした NAND 型フラッシュメモリの会社で半導体関連の一角を占めます。同社は 11 月 13 日取引終了後に中間決算を発表しましたが、市場予想には及びませんでした。それを受けて 11 月 14 日は 3,000 円安の 10,025 円まで下がるストップ安となりました。

夜間取引ではおおよそ 9,000 円から 9,800 円の推移でした。ストップ安直後としては意外と底堅く強弱感に対立した展開でした。データセンターの増設でNAND型フラッシュメモリ市場への期待感もあり、押し目買いが入ったとみられます。11 月 17 日の日中取引では 9,895 円～11,165 円(前日比 1,140 円高)の展開でした。夜間取引での押し目買いは奏功した可能性が大きいようです。

決算悪を嫌気してのストップ安であれば、続落しても不思議ではなかったかもしれません。しかし、夜間取引の間に冷静な押し目買いが入っていたことで、翌営業日の反発につながった可能性があります。仮に取引に参加しなくとも、夜間取引をウォッチしておくことで、翌日以降の値動きを予見することも不可能ではないようです。

<鈴木 英之氏 プロフィール>



公益社団法人日本証券アナリスト協会認定アナリスト

SBI証券 投資情報部長 鈴木 英之

早稲田大学卒。旧日栄証券(現 SBI証券)入社、リテール営業、調査部、株式部等を経て、SBI証券投資情報部長に。モーニングスター株式会社(現・ウエルスアドバイザー株式会社)調査分析室長へ転籍を経て 2009 年 5 月より現職。ラジオ NIKKEI(月曜日)、ストックボイス(木曜日)等でコメントを発信中。News モーニングサテライト(テレビ東京系)に出演。定期的寄稿もある。

ジャパンネクスト証券の PTS について

ジャパンネクスト証券は、PTS の運営に特化した証券会社です。PTS とは証券取引所を介さずに株式などの有価証券の売買を成立させる取引システムのことです。東京証券取引所をはじめとする取引所と同様に、投資家の皆様取引の機会を提供しています。

ジャパンネクスト証券の PTS は日中の取引市場(平日 8 時 20 分から 16 時 30 分まで)と、夜間取引市場(平日 17 時から翌日 6 時まで)を開設しております。

会社概要

会社名	:	ジャパンネクスト証券株式会社
設立日	:	2006 年 11 月 8 日
代表者	:	山田 正勝
所在地	:	〒106-0032 東京都港区六本木 3-1-1 六本木ティーキューブ 20 階
資本金	:	2,521 百万円
証券業登録と認可	:	2007 年 3 月 証券業登録 2007 年 6 月 私設取引システム(PTS) 運用業務に係る認可 2007 年 9 月 金融商品取引法に基づく金融商品取引業者 私設取引システム(PTS) としての登録 関東財務局長(金商)第 45 号
加入協会	:	日本証券業協会(JSDA) / 日本投資者保護基金(JIPF)
事業内容	:	私設取引システム(PTS) の運営、コロケーション・データセンターサービス、 マーケット・データの提供、ソフトウェアの開発

<金融商品取引法に係る表示>

ジャパンネクスト証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 45 号
加入協会 日本証券業協会

<投資家の皆様へ 手数料およびリスク等に関するご注意事項>

ジャパンネクスト証券株式会社が運営するジャパンネクスト PTS にて取り扱う商品等にご投資いただく際、ジャパンネクスト PTS の取引参加証券会社を通じてご利用いただく必要があります。ご利用にあたりその証券会社が各商品等について定める手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。なお、証券会社にご負担を求める手数料等は証券会社により異なる場合があります。ご利用になる証券会社に手数料等、及びその取引のリスク他注意事項についてご確認いただくとともに、その証券会社がお渡しする契約締結前交付書面や上場有価証券等書面、信用取引の契約締結前交付書面等を通して詳細をご確認いただけますようお願いいたします。

<当社のサービスの留意事項>

当社の運営するジャパンネクストPTSでは、日本で登録された証券会社を参加者として株式取引等の付け合せを行っております。当社は、そのような証券会社（特定投資家）以外の方に対しサービスを提供しておりません。繰り返しのなりますが、ジャパンネクストPTSにおけるお取引をご希望の場合は、ジャパンネクストPTSに、お客様のご注文を取り次いでいる証券会社での口座開設が必要となります。